

2010年5月13日

島根県知事 溝口 善兵衛 様

日本共産党島根県委員会  
委員長 中林 隆  
県議会議員 尾村 利成

## 口蹄疫発生についての申し入れ

本年4月20日、宮崎県の畜産農家で家畜伝染病の口蹄疫が発生し、その後、周辺農場で次々に新たな疑似患畜が発見されています。

宮崎県では、口蹄疫の発生で家畜セリ市やイベントが多数中止となり、畜産農家をはじめ、関連業者への影響が広がっています。畜産農家は、口蹄疫の早急な原因究明や経済損失への補償を切に願っています。

島根県においても、5月の家畜市場が中止・延期となり、畜産農家の不安が高まっています。

日本共産党島根県委員会は、この間、畜産農家に対して聞き取り調査を実施し、農家の切実な声をお聞きしてきました。

本県において、今日時点で口蹄疫は未発生ではありますが、万全なる防疫対策と畜産農家への支援策を図ることが必要と考えます。

この立場から下記の通り、口蹄疫問題での申し入れを行います。

### 記

1. 的確な予防措置を実施すること。
  - ・ 防疫対策に有効な消毒液を備蓄し、必要とする農家に支給すること。
  - ・ 消毒薬購入経費について助成を拡充すること。
2. 発生時に備え、埋却地の確保に万全を期すこと。
3. 影響を受けた農家への経営支援を行うこと。
  - ・ 家畜市場の中止により、滞留する牛・豚への飼料代がかさみ、出荷時期が延びることにより、商品価値の低下が懸念されている。経済的損失を受けた農家への補償を実施すること。
4. 風評被害防止対策を徹底すること。
  - ・ 風評被害が発生しないよう正確な広報活動を行うとともに、関係団体への支援を強めること。
5. 畜産農家の要望や相談をしっかりと掌握する体制を強化すること。
6. 不足している獣医師の確保に努めること。